

高校地理プリント（過去問類似）

資源と産業 No.5

名前

得点

/10

問1 南アジアの大部分は熱帯や亜熱帯に属し、年間を通じて高温多湿な気候を示す。この地域の気候風土に適応するため、縫製をせず一枚の布を体に巻きつける構造を持ち、通気性を高めて涼しく過ごせるよう工夫されたインドの女性用伝統衣装を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. ケバヤ 2. キルト 3. サリー 4. サロン

問2 1970年から2000年にかけて、中国で第1次産業の就業者割合が急激に低下し、日本やアメリカ合衆国で第3次産業の割合が大きく上昇したように、経済発展にともなって産業構造の比重がプライマリ部門からセカンダリ、ターシャリ部門へと移行していく経済法則を何というか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. ペティ・クラークの法則 2. チューネンの農業立地論 3. ウェーバーの工業立地論 4. クリスタラーの中心地理論

問3 アジアの主要空港は、それぞれの地理的条件を活かしたハブ（拠点）機能を有している。アジアの各都市から太平洋を越えて移動する旅客の乗り継ぎ需要を多く取り込み、特にアジアと北アメリカを結ぶ結節点として、北アメリカ方面への乗り継ぎ旅客数が圧倒的に多い特徴を持つ日本の国際空港はどこか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 関西国際空港 2. 東京国際空港 3. 成田国際空港 4. 中部国際空港

問4 ヨーロッパでは、平坦な地形と安定した河川流量を活かした内陸水路網が発達している。このうち、スイスのアルプス山脈に源流を持ち、フランスとドイツの国境を流れ、ルール工業地帯などの主要工業地帯を経由して北海へと注ぐ、ヨーロッパで貨物輸送量が極めて多い国際河川は何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. エルベ川 2. ドナウ川 3. ライン川 4. セーヌ川

問5 アジアのNIES（新興工業経済地域）の一角として早期に工業化を達成したシンガポールにおいて、外資系企業の進出などを背景に、現在の輸出産業において最も高い割合を占めているハイテク関連の工業製品分類は何か。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. 繊維製品 2. 電気機械 3. 精密機械 4. 輸送機械

問6 アフリカ中南部に位置し、隣国との国境付近に広がる一大鉱山地帯から産出される銅鉱の輸出に依存している国がある。近年、銅価格の高騰によって一時的に国家財政や輸出額は潤ったものの、富が一部の層や外資系企業に集中し、国内の貧富の差や経済格差は容易に解消されていない。この国はどこか。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. アンゴラ 2. ザンビア 3. ボツワナ 4. ナミビア

問7 ヨーロッパの再生可能エネルギー開発において、アイスランドやイタリアなど火山帯に位置する国々で盛んに導入されている一方、国土全体が平坦で火山のないオランダなどの国では導入が極めて困難である発電方式は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 波力発電 2. 水力発電 3. 風力発電 4. 地熱発電

問8 日本の林産物輸入において、マレーシアやインドネシアなどの熱帯林を擁する東南アジア諸国から多く輸入されている、現地で薄く削った単板を積み重ねて接着した加工木材を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. 丸太 2. 木材 3. 製材 4. 合板

問9 農産物や食品の流通が広域化する中、特定の地域と結びついた伝統的な製法や気候風土による品質の特性を持つ製品について、その名称を国が知的財産として登録し、不正な使用から守るための制度が導入されている。フランスのシャンパンや、日本の『夕張メロン』などがこの対象となる。このような、原産地を地域ブランドとして保護し、品質を保証することを目的とした制度を何というか。 (2021年 全国公立入試 類似)

1. 知的財産権制度 2. 地理的表示保護制度 3. 産業財産権制度 4. 不正競争防止制度

問10 地中海周辺地域において、アルプス山脈周辺やトルコなど、起伏に富んだ地形と一定の降水量が得られる高地・山岳地域を中心に多く分布している、地形の高低差と水資源を利用した発電方式を何というか。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. 地熱発電 2. 水力発電 3. 風力発電 4. 波力発電

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 サリー	南アジアの大部分は熱帯や亜熱帯に属し、高温多湿な気候が特徴である。このため、伝統衣装は体に密着せず、風通し（通気性）を良くするための工夫がなされている。縫製をしない一枚の長い布を体に巻きつけるこの衣装は、気候に適した機能性を持っている。
問2	答え 1 ペティ・クラークの法則	経済発展にともない、就業者数や生産額の比重が第1次産業から第2次産業、そして第3次産業へとシフトしていく現象を指す。1970年から2000年にかけて、中国において第1次産業就業者割合が約80%から約50%へと急減したことや、日本やアメリカ合衆国で第3次産業の割合がそれぞれ約70%、約75%以上へと上昇した動きは、この法則の典型例である。
問3	答え 3 成田国際空港	アジアと北アメリカを結ぶ大圏航路（最短ルート）上に位置する地理的優位性から、アジア諸国から太平洋を横断して北アメリカへ向かう旅客の重要な乗り継ぎ拠点（ハブ）として機能してきた。そのため、他のアジアの主要空港と比較して、北アメリカ方面への乗り継ぎ旅客の割合が非常に高い特徴がある。
問4	答え 3 ライン川	ヨーロッパ北部・西部は、西岸海洋性気候の影響で年間を通じて降水量が安定しており、河川の流量変化が少ない。スイスのアルプス山脈から北へと流れ、ドイツの工業地帯を経てオランダのロッテルダムで北海に注ぐこの河川は、条約によって航行の自由が保障された国際河川であり、内陸水運の基幹となっている。
問5	答え 2 電気機械	シンガポールは、1970年代以降に外資系企業を積極的に誘致し、アジアのNIESとして急速な工業化を遂げた。特に電子部品や半導体などのハイテク産業が発達しており、輸出貿易においては電気機械が最大の輸出品目となっている。
問6	答え 2 ザンビア	ザンビアは、コンゴ民主共和国との国境にまたがるコッパーベルト（銅鉱帯）を擁し、輸出の大部分を銅に依存している。資源価格の上昇は一時的な経済成長をもたらすものの、その恩恵が社会全体に行き渡らないため、貧富の差や地域的な経済格差は依然として解消されていない。
問7	答え 4 地熱発電	再生可能エネルギーの導入は各国の地形や地質構造に強く依存する。地下のマグマの熱を利用するこの発電方式は、プレートの境界や火山帯に位置する国々で適しているが、安定陸塊や平坦な地形が広がり火山が存在しないオランダなどでは導入が困難である。
問8	答え 4 合板	マレーシアやインドネシアなどの熱帯林地域からは、現地での高付加価値化や森林保護政策（原木輸出規制など）を背景に、現地で加工された合板が多く輸入されている。一方、ロシアやカナダなどの冷帯林地域からは丸太や製材が、オーストラリアや南アフリカ共和国からは木材チップが多く輸入されている。
問9	答え 2 地理的表示保護制度	伝統的な生産方法や気候・風土などの生産地の特性が、品質などの確立した特性に結びついている商品について、その名称を国が知的財産として保護する制度である。これにより、地域ブランドの価値が維持され、消費者にとっても品質の保証となる。安価な農産物の輸入促進を目的としたものではなく、模倣品を排除し、生産者の利益と消費者の信頼を守ることを目的としている。
問10	答え 2 水力発電	高低差のある地形と一定の流量が必要となるため、地中海周辺ではアルプス山脈周辺の急峻な山岳地帯や、河川の上流部に位置するトルコなどに多く分布する。一方で、降水量の極めて少ない北アフリカの乾燥帯などでは適地が限られるため、分布は低調である。